# 要請番号(JL04825B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	C101 食用作物・稲作栽 培		個別	新規	2年	• 2026/1 • 2026/2 • 2026/3 • 2027/1

### 【配属機関概要】

1) 受入省庁名(日本語)

2) 配属機関名(日本語)

農業畜産省

バジョ農業研究開発センター

3) 任地( ウォンディ・ポダン県バジョ ) JICA事務所の所在地( ティンプー市 )

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 ( バス で 約 3.0 時間 )

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、農業振興調査研究組織として全国に4ヶ所設けられているセンターの一つで、1965年に農業試験場として設立された。ウォンディ・ポダン県を中心とする中西部地域5県を対象に技術支援を行っている。同センターには、畑作、園芸、エンジニアリング、技術支援サービスを担当する部署があり、年間予算は約1億円。これまでJICA技術協力プロジェクト「中西部地域園芸農業振興プロジェクト」(2016年~2021年)などを実施していた。過去にJICA海外協力隊(食 用作物・稲作栽培、野菜栽培)の派遣実績がある。

### 【要請概要】

#### 1)要請理由・背景

配属先では、国内の食糧安全保障の一環として、中西部地域で生産可能な米の品種改良研究を進めている。具体的には、各地域で採取した稲の育種・交配や栽培方法の改善を目指し、センター内にある圃場での実証実験を行っており、これまでに5つの品種改良に成功した。引き続き地域に適した品種の開発に注力したいものの、ベテラン技術者の退職により、専門知識を持つスタッフが不足しており、研究・実践が頓挫している状況にある。このような背景から、品種改良に向けた風場での実証は表す。 今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容(以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しな がら活動を進めます)

- 配属先同僚と協力しながら、以下の活動を行う 1.稲作に関する各種試験を実施する。 2.同僚と共にセンター内にある圃場で米の実証試験を実施する。 3.研究を通じた米の品種改良に関する知識や技術を共有する。
- 4.周辺の稲作農家等を対象とした研修を実施する。

### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

稲作の試験圃場、乾燥機、脱穀機、農機具一式、机、椅子、プリンター等

### 4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】 センター長(50代、男性)※本邦研修経験者 カウンターパート(40代、男性)※本邦研修経験者 同僚スタッフ 2名(20,30代、男性)

【活動対象者】 上記、同僚および地域農家約250世帯

5) 活動使用言語

6) 生活使用言語

7) 選考指定言語

英語

その他

英語(レベル:C)

### 【資格条件等】

[免許]: (

[学歴]: (大卒) 農学系 備考:同僚の学歴水準に合わせ るため

[性別]: ( ) 備考:

[経験]: (実務経験) 5年以上 備考:指導的な活動とな

るため

[参考情報]:

・米の品種改良に携わった経験(必須)

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]: (温暖冬季少雨気候) 気温: (10~30℃位) [電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水道]: (安定)

## 【特記事項】

・任地での生活使用言語は英語もしくはゾンカ語。ゾンカ語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.